



2021 年度 日系社会次世代育成研修  
(高校生・大学生招へいプログラム)  
研修員 OB・OG 向け  
オンライン研修

2021 年 10 月 15 日～2022 年 1 月 17 日

(高校生・大学生の OB・OG 合同でフォローアップ研修を実施)

2022 年 3 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA) 中南米部

公益社団法人青年海外協力協会

## 目次

I. 日系社会次世代育成研修（高校生・大学生招へいプログラム）概要.....	1
II. 研修員（国名・所属先）.....	3
III. プログラム日程.....	4
IV. プログラム内容.....	5
V. 研修員よりひとこと.....	21
VI. 総評.....	35
【参考】添付資料（実施要項）	

# I 日系社会次世代育成研修（高校生・大学生招へいプログラム）概要

## 1. 研修の目的

中南米の日系社会では世代交代が進み、日系2世、3世以降が今後の日系社会を担う存在となっています。本研修は今後の日系社会を担う世代に対する研修を通して、日本との関係強化や移住先社会の発展に貢献できる人物の育成を目的としています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大が長期化していることからオンライン研修に切り替え、本研修が開始された2015年度から2019年度まで本邦研修を受講した研修員を対象とした「フォローアップ研修」を高校生・大学生OB・OG合同で実施しました。

研修員が本邦研修終了後、研修で学んだことを応用し、①各国や各地域の日系社会で活動した際に感じた課題を共有し、解決方法について考えること、②日本の文化、習慣等を再認識し、日本や祖先に対する理解を深めることで、自らの日系人としてのアイデンティティをより強化すること、③新型コロナウイルス収束後の日系社会の再活動方法を見直し、本邦研修や本研修で得た知見を深め、日系社会の発展のために活かすことを狙いとしてきました。

## 2. 研修期間

2021年10月15日（金）～2022年1月17日（月）

	講義名	実施月
講義1	日系社会で活動する上での課題解決	2021年10月
講義2	文化継承を考える	2021年10月～11月
講義3	文化を守る、文化を受け継ぐ	2021年11月
講義4	日系社会での活動を再考し、発表する	2021年12月～2022年1月

### 3. 研修員内訳

年代別参加人数：計 36 名

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	合計
高校生	2 名	0 名	3 名	7 名	10 名	22 名
大学生	0 名	3 名	4 名	5 名	2 名	14 名
計	2 名	3 名	7 名	12 名	12 名	36 名

講義別参加人数（延べ人数）：計 94 名

	講義 1	講義 2	講義 3	講義 4	合計
平日	8 名	4 名	3 名		15 名
週末	21 名	21 名	18 名	19 名	79 名
計	29 名	25 名	21 名	19 名	94 名

\* 講義 4 は週末コースのみ実施

国別参加人数：計 6 カ国

	メキシコ	ブラジル	ペルー	ポリビア	パラグアイ	アルゼンチン
高校生	1 名	5 名	8 名	1 名	3 名	4 名
大学生	1 名	2 名	4 名	2 名	2 名	3 名
計	2 名	7 名	12 名	3 名	5 名	7 名

\* 高校生…過去の本邦研修で「高校生招へいプログラム」に参加した研修員

\* 大学生…過去の本邦研修で「大学生招へいプログラム」に参加した研修員

### 4. 研修概要

カテゴリー	内容
日系人および日系社会の貢献方法を考察する	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 世界的な新型コロナウイルス感染拡大の状況と世界や中南米諸国への影響を把握する</li> <li>✓ SDGs を用いた各国・各地域への貢献方法を考察する</li> </ul>
日本文化継承の意義を考察する	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本文化を見直し、祖先の文化・習慣を知る</li> <li>✓ 自国で日本文化を継承する意義を考える</li> </ul>
伝統文化を伝承および継承している日本人との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本文化を伝える人や受け継ぐ人をゲストに招き、話を聞く</li> </ul>
日本の大学生・留学生とのグループ発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日系社会の再活動することについて日本の大学生および留学生と協働でプロジェクトを考え、発表を行う</li> </ul>

## Ⅱ. 研修員（国名・所属先）

国名	人数	所属団体および学校名
メキシコ	2	1 モレロス日系人会
		1 ー
ブラジル	7	1 ブラジル剣道連盟
		1 ブラジル三重県人会
		1 モジダスクルーゼス文化協会
		1 ARCG 日本語学校
		1 ピラール・ド・スール文化体育協会
		1 イボチ日伯文化協会
		1 ー
ペルー	12	3 天理文化センター
		3 ペルー日系人協会
		1 APJ JICA ZENDAICO
		1 鶴日本語学校
		1 ペルー福岡県人会
		1 ペルー北中城村人会
		2 ー
ボリビア	3	1 Asociación Boliviana Japonesa
		1 Jóvenes Bolivia FENABOJA y Centro Social Japonés
		1 ー
パラグアイ	5	1 エンカルナシオン日本人会
		1 パラグアイ三育学院
		1 アスンシオン日本人会
		1 Unión de Jóvenes Nikkei
		1 アスンシオン日本語学校
アルゼンチン	7	3 ブエノス・アイレス日亜学院
		1 沖縄県人会
		1 アルゼンチン秋田県人会
		2 ー

「ー」は所属なし

### Ⅲ. プログラム日程

#### 講義 1 : 「日系社会で活動する上での課題解決」

	録音講義	事前ミーティング	ライブ講義
平日コース	10月11日(月)～	10月15日(金)	10月22日(金)
週末コース	10月21日(木)迄	10月18日(月)	10月25日(月)

#### 講義 2 : 「文化継承を考える」

	事前ミーティング	ライブ講義
平日コース	11月3日(水)	11月10日(水)
週末コース	11月1日(月)	11月8日(月)

#### 講義 3 : 「文化を守る、文化を受け継ぐ」

	事前ミーティング	ライブ講義
平日コース	11月17日(水)	11月24日(水)
週末コース	11月15日(月)	11月22日(月)

#### 講義 4 : 「日系社会での活動を再考し、発表する」(週末コースのみ)

	ミーティング1	ミーティング2	グループ発表
週末コース	12月13日(月)	12月20日(月)	2022年1月17日(月)

## IV. プログラム内容

2021年10月11日（月）～10月21日（木）

講義1「日系社会で活動する上での課題解決」平日・週末コース：録音講義

アルゼンチン日系二世で渉外法務通訳の事業や JICA 日系社会研修や関東・中部エリアの大学講師、NHK の放送通訳を務め、中南米をはじめ日系社会に精通している講師を迎え、事前ミーティングやライブ講義の理解を深められるよう、事前学習として録音講義を行いました。本講義を行うにあたり、中南米諸国のインターネット環境を考え、データが軽量でダウンロードがしやすく、受講する研修員が自国の大学の講義や仕事の隙間時間に受けられるよう音声による講義としました。

録音講義で新型コロナウイルス感染拡大が中南米諸国の社会や経済、教育、そして日系社会にどのような影響を及ぼしているのか現状を把握しました。それらを踏まえ、研修員は今後の日系社会等での再活動をどのように行えばよいか、日系人や日系社会が果たすべき役割は何かを考察しました。

録音講義を視聴した研修員からは、「新型コロナウイルスに関する情報を国別に統計して説明されていたため、非常に分かりやすく有益な情報だった。」「自粛期間が長引き、生活や活動に制限がかかっても、日本文化を忘れることなく日系社会での行事や人々の交流が長く続いていくようにしなければならない。そのひとつとして、ソーシャルメディアを活用していくのもひとつの方法だということが分かった。」というコメントが寄せられました。

2021年10月15日（金）

JICA 挨拶

JICA 横浜 上石次長による挨拶がありました。「世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、日常生活に制限が設けられ、これまで行ってきたイベントの自粛や日本語学校のオンライン化等、様々な対応が求められていると聞いている。いずれも簡単に解決できる課題ばかりではないかもしれないが、そのような時こそ、日系社会の次世代を担う研修員のみなさんが集い、ともに考え、学ぶことの意義があるように思う。ぜひ国や年齢を超えて、積極的に交流いただくとともに、これまでの活動を見つめなおし、日系社会の更なる活性化に向けてあらたなヒントを得る機会としてほしい。」と激励を受け、少し緊張しながらも再会した仲間と切磋琢磨しながら知見を広める機会を得られたことに期待を膨らませる姿が見受けられました。

2021年10月15日（金）

## 講義1「日系社会で活動する上での課題解決」平日コース：事前ミーティング

2016年度から2019年度高校生招へいプログラム、大学生招へいプログラムのいずれかで来日し、本邦研修に参加した研修員がオンライン上で集まり、ミーティングを行いました。研修員は、同じ本邦研修を受けた仲間や所属する日系団体や日本語学校の研修員の顔ぶれを見て、懐かしさと喜びで一杯の表情をしていました。

平日コースを受講した研修員は、自国や日本の大学および大学院へ進学する者、社会人として仕事をしている者です。本邦研修から自国へ戻った後、研修の学びを活かし日系社会で活動した内容を共有した後、今後、日系社会等での活動が再開できたときに何ができるのか、グループで話し合いました。その結果、前向きに捉えるグループと慎重に考えるグループに分かれたものの、いずれも復活できると答えました。具体案として、「対面型で行事等の活動を復活させる場合は、消毒や会場の換気および人数制限を設け、参加者の安全管理対策といった万全の措置を取りながら行うこと」を挙げていました。

一方、オンライン型で行事等の開催については、「以前はロコミで行事があることを周知することができていたので地域の人たちが大勢参加していたが、新型コロナウイルス感染拡大後はロックダウンで外出禁止となり人と会う機会が奪われこと、また、活動する地域ではソーシャルメディアの普及の遅れから情報が途絶え、行事があることを知らない人が多い。そのため、オンライン型で行事を開催しても参加者が見込めないのではないか」と疑問視する意見もあり、それぞれの国や地域に合わせた活動の再開を検討する必要があることが分かりました。



2021年10月18日（月）

## 講義1「日系社会で活動する上での課題解決」週末コース：事前ミーティング

研修員が暮らす中南米諸国では日曜日の夜の時間帯のため、大学や仕事の休日を利用して受講する研修員が多く見られました。

週末コースの研修員の多くも、本邦研修から帰国した後の活動として、日本語学校や日系社会の中にある会館にて報告会を行い、研修へ参加することを推奨したり、和太鼓や三線といった日本文化や出身県の文化活動を行ったりしましたが、中には仕事や進学による引っ越しを理由に日系社会での活動が遠のいたと話す研修員もいました。

今後、日系社会等での活動が再開できるかという質問に対しては、ペルーやメキシコ等、徐々に活動範囲の制限が解除されている国の研修員より、「注意を払いながら対面での活動を復活させることができる」というグループの見解があった一方、他のグループでは「年配の日系人の多い日系社会では感染リスクを危惧し、復活には時間がかかる」という意見が出され、各国および各地域の新型コロナウイルスの感染状況によって状況が変わるとの見解がほとんどでした。

また、自国や地域の日系社会ではどのような方法でSDGsを用いた社会貢献ができるか意見交換した結果、SDGs2「飢餓をゼロに」（自国の日系社会では農業に従事していることから、必要な人々へ食糧を提供することで貢献する）、SDGs3「すべての人に健康と福祉を」（日系人が医療現場で活躍していることから健康と福祉に貢献する）、SDGs11「住み続けられるまちづくりを」（日系社会を継承し、発展させながら、周辺地域と協力し合い、社会貢献する）等の目標に対し、日系社会が貢献できると考えをまとめていました。



2021年10月22日（金）

講義1「日系社会で活動する上での課題解決」平日コース：ライブ講義

前年度から長引く新型コロナウイルス感染拡大により各国・各地域の日系社会も大きく影響を受け、会館の一時閉鎖や存続の危機、日本語学校の休校および行事の中止、オンラインへの切り替え等、今もなお多くの課題を抱え、将来を不安視する声があがったため、講師は研修員の声に耳を傾けながら、今後の日系社会等での活動を再開する方法や日系人および日系社会がSDGsを用いた社会貢献のあり方について講義を行いました。

講師より、今後の日系社会等の再活動について、「みなさんのようなミレニウム世代もしくはZ世代と呼ばれる人たちはソーシャルメディアやテクノロジーと深く関りがある。それらを駆使することで新たなコミュニケーションの手段が得られ、日系社会の最新情報や日本文化を伝えることが可能になる。」と提言がありました。携帯電話やパソコンが身近にあり、日常生活で写真や動画撮影、ソーシャルネットワークへ気軽にアクセスしている研修員ですが、自らがそれらを使って日系社会の取り組みや文化を発信するということはあまり考えていなかったようで、興味深く聞く姿が見受けられました。そして、これまでとは違う活動方法のヒントを得て、自分ならどのように発信していくか具体案を考えはじめました。



2021年10月25日（月）

講義1「日系社会で活動する上での課題解決」週末コース：ライブ講義

平日コースと同様、録音講義でも触れた中南米諸国や日本の新型コロナウイルスの感染状況やそれによる影響、今後の日系社会等の活動再開や日系人および日系社会ができる社会への貢献方法について学びました。

講師より、「これまで日系社会は和太鼓やエイサー、行事等の文化活動で日系人のみならず地域の人にも参加していただき多くの支援を受けたことで、日系社会の運営資金に充て、活動することができた。ところが、新型コロナウイルス感染拡大後、みな同様に経済的ダメージを受け、困難な状況にある。そのようなときこそ、日本人が言う『寄り添う』ことが必要である。」とあり、日系人や日系社会ができるSDGsを用いた貢献方法について考察しました。

講師は一例として、中南米諸国が直面する肥満の問題と日系社会の行事で提供されている【和食】に注目し、行事で出店している「焼きそば」や「焼き鳥」「すき焼き」等は油分や塩分が多く野菜が少ないことが多いことを挙げ、減塩や他の調味料に置き換える、野菜を多めに入れる等の工夫をすることで、日系社会の活動の中で各国や各地域の栄養改善の一助となる貢献をしてはどうかと提案がありました。その話を聞き、研修員は「非常にシンプルな行動で日系社会がSDGsを用いた貢献ができると分かり驚いた。自国の料理は高カロリーで不健康になりやすい傾向にあるが、和食は非常にバランスが取れており、講師の話に納得した。」「健康的で美味しい和食を紹介することで、SDGsの貢献に繋がるだけではなく、日本の伝統を広く知らしめることができるのではと思った。」「和食が健康的な食生活として世界的に貢献できるという話は興味深かった。豆腐やみそ、調味料等の食材は高くて日常的に使えないので、手軽に自国の家庭料理に取り入れられる方法はないだろうか。」とコメントし、SDGsの視点から中南米の健康における現状を改善する可能性を見出そうとしていました。



2021年11月1日(月)

## 講義2「文化継承を考える」週末コース 事前ミーティング

アイスブレイクとして、始めにじゃんけんでその時の気分や、研修員の自宅や町、国の中で「日本」を感じる物を持ちより、見せながら自己紹介し、今回の研修で共に学ぶ研修員のことを知る機会を設けました。週末コースを受講した研修員は地域または旅先の日系社会にある鳥居の写真や自身が剣道の練習の際に使用している面、本邦研修で作成した報告書や折り鶴等、身近なものや日本の思い出の品を持ちより、嬉しそうにエピソードを交えて話す時間となりました。

今回、文化継承をテーマとする講義を受けるにあたり、研修員の曾祖父母や祖父母等、戦前から戦後にかけて中南米へ移住した日本人の当時と現代の日本の生活様式を比較しました。そして、歴史的背景や文化、習慣、考え方等を学ぶことで祖先が有する日本特有の文化とはどのようなものかを再認識し、自国の文化や習慣等との違いを考察しました。日本での食事の際、「いただきます」「ごちそうさま」を例に取ってみても、日本人は食事に対して感謝の気持ちを発し、自国では食事前や他の人が食事をしている人に対し、「ごゆっくり」「美味しく召し上がれ」という言葉を発する、という違いに気付きました。また、ライブ講義のキーワードとなる「侍」のイメージを聞いたところ、「着物を着た男性が刀を持ち戦う」「誇り高い人」「忍耐強い人」と答える研修員が多い中、自国の学校の研究テーマで「侍」を取り上げたことがある研修員より、侍がいた時代の背景や侍の仕事について共有されました。研修員は、まだまだ知らない「日本」があることに気付き、興味を持ち聞き入っていました。

事前ミーティング後、研修員は「日本と自国を比較することで、これまで気づかなかった自国の社会の良さも発見できた」とコメントし、「グループワークで日本と自国について考察した際、全員が『双方の文化の良さを掛け合わせ、日本と日系社会の【架け橋】として日系社会を向上させていきたい。また、その役割を果たしたい』と考えていることが分かり、とても嬉しく、そして心強く感じた。」「印象的だったのは、日本人の衣服や建物、さらに日本人の考え方が時代を追うごとに変化していったこと。それらが現代の日本文化を作っているのだと思った。」等、様々な気付きが見られました。



2021年11月3日(水)

## 講義2「文化継承を考える」平日コース 事前ミーティング

アイスブレイクとして、始めにじゃんけんでその時の気分や、研修員の自宅や町、国の中で「日本」を感じる物や写真を共有しながら自己紹介し、今回の研修で共に学ぶ研修員のことを知る機会を作りました。研修員が「日本」を感じる物や写真を共有する場面では、曾祖父母の移住当時(1934年)のパスポート写真や曾祖父母の氏名が書かれた出身県の移住に関する本、4世代前から続くファミリーツリー等、自身と日本の繋がりを感じさせる「家宝」を紹介し合い、互いの人となりが見え、少しずつ緊張がほぐれていきました。

講義の前半で日本に対するイメージや好きなどころ、自国の好きなどころについて研修員同士で話し合った結果、自他ともに日本に対するイメージはポジティブなものが多く、日本人が規律を保つことや尊敬の念を持つことは日本人の重要な柱となっていると答えていました。

一方、日本留学中の研修員より、「自国を離れて日本で生活することで、自国の良さを再認識している。例えば自国では誰とでも友達になれるところや、家族が盛大に誕生日を祝ってくれること、ハグをして挨拶をすることだが、日本人は打ち解けるまでに時間がかかるので少し寂しさを感じている。」と共有され、どちらの国も誇れる良さがあることを確認しました。

事前ミーティングを受けた研修員からは、「最初は緊張していたがアイスブレイクを行うことで、リラックスしながら他の研修員の家族の文化背景や歴史等を知ることができ、打ち解けるきっかけとなった。」「私たちが知らない間に受け継がれている日本文化や習慣について、少し理解できた。」「『いただきます』や『ごちそうさまでした』といった食事の前後の挨拶には感謝の気持ちが含まれていると知り、普段何気なく口にして他の日本語にはどのような意味が含まれているのだろうかと気になり始めた。」とコメントが寄せられました。



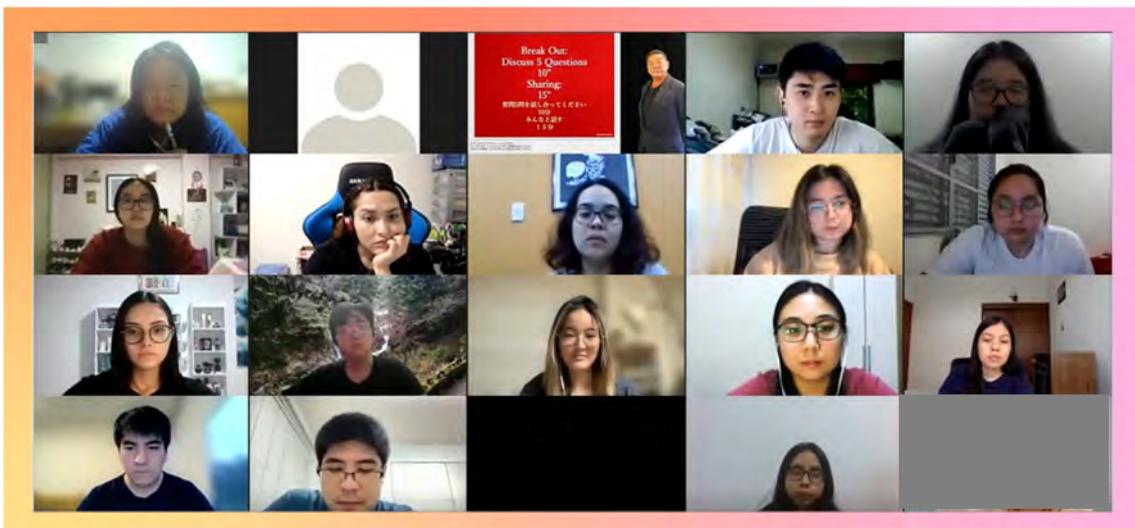
2021年11月8日(月)

講義2「文化継承を考える」週末コース ライブ講義

多くの研修員は、家族から「日本文化や出身県の文化を受け継いでほしい。」「日本語を忘れないように学校で学び、話してほしい。」と言われたことがあり、日本語の習得や茶道・書道といった芸能、和太鼓・三線といった音楽、剣道や空手、野球といったスポーツ、日本舞踊や琉球舞踊等の文化や伝統芸能に親しんでいます。そこで本講義では、何故、家族は文化継承を望むのか、日本や出身県の文化について知るため、各国の日本語学校の授業や行事でも紹介され、本邦研修の体験学習で行った茶道や生け花、侍の思想を通して日本文化や文化継承の意義について考察しました。

本講義では、外資系企業の役員の経験や海外で得た様々な知見を次世代に伝えるべくビジネス・スクールを開講している講師を迎えました。講師より江戸時代の侍が大事にしてきた「仁」「義」「礼」「智」「信」について書かれている「武士道」が紹介され、研修員の曾祖父母や祖父母もこの5つの価値観に基づき、一日一日を後悔なく生きてきたことが分かりました。「これらの価値観が日本人の献身さや思いやり、勤勉等につながり、現在の日本社会に反映されていることに気付いた。」との振り返りがありました。

そして、茶道や懐石料理、生け花を事例に日本人の持つ「調和」「おもてなしの心」について触れ、日本人の持つ繊細な感覚や礼儀、仕草に込められた良さや美しさを発見しました。研修員はいずれの話も「これまで聞いたことのない内容で、日本の歴史と文化の関係を理解する上ことは非常に興味深かった。」と話し、「最も感銘を受けたのは、侍が個人の利益ではなく、社会全体の幸福のために戦ったということだ。このことが現代の日本文化に反映されていると分かった。世界中の文化が同様に社会全体の幸福を考えると良いと思った。」「東京オリンピックの閉会式で茶道が行われているのを観て物足りなさを感じていたが、それは慣れ親しんだ自国の文化の視点で見ていたからだに気付いた。講義を受け、茶道はシンプルな中にも心のこもったおもてなしがあり、日本文化も素敵だと見方が変わった。」とコメントし、祖先の文化に対する理解を深め、今まであまり意識していなかった文化の継承について考える第一歩となりました。



2021年11月10日(水)

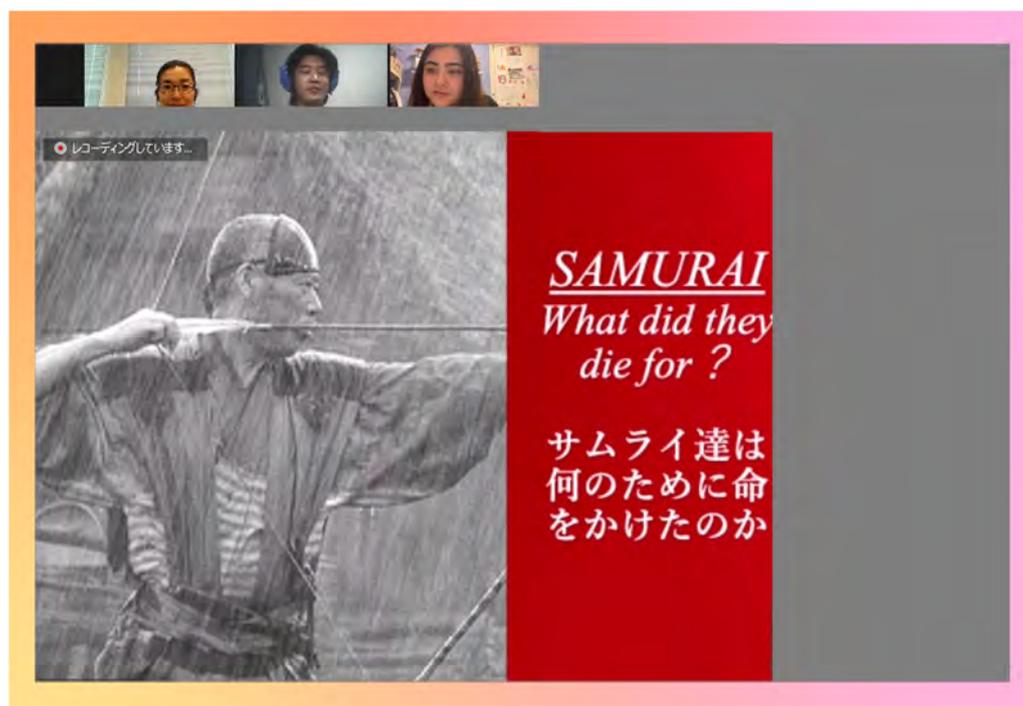
講義2「文化継承を考える」平日コース ライブ講義

出身国も家族の出身県も同じ研修員2名が参加し、講師や他の研修員と討論しながら受講しました。こちらのコースの研修員も家族からの強い勧めにより幼少期から日本語学校で日本語や日本もしくは出身県の文化に触れる、日系社会の行事に参加するといった形で日本や出身県との繋がりを大切にしてきましたが、ごく自然なこととして受け止めていました。

講師から西洋の騎士と日本の侍の違いについて、「騎士は自己の利益を考え、侍は他者を守ってこそ、自分を守ることができると考えた。平和な時にも命がけで責任を取る指導者がいた。」と説明を聞き、サムライ・スピリットに驚きと感嘆の声を上げていました。

また、本邦研修で行った茶道や懐石料理、生け花を例に挙げ、日本人の調和に基づいたおもてなしについて学び、研修員は「特に侍とその哲学に魅了された非常に興味深いものだった。祖先の考えや日本文化を深く知るためにも、講師が紹介していた本を読んでみようと思う。」「武士道の本質として紹介された『死ぬことと見つけたり』という言葉が印象的だった。自身も人生に後悔がないよう、自分がやりたいことに挑戦し、これが最後の瞬間だという気持ちで一分一秒を大切に生きていきたいと思った。」と感想を述べていました。

講義の終わりに講師から「この3名で話しているこの瞬間も、非常に貴重でそれぞれの人生に影響を与え得る、戻ることができない特別な時間。誰かと会うときは『今日がこの人と会う最後の日かもしれない』と思いながら、その時間をより愛おしく特別なものにして欲しい。」とあり、その言葉をしっかりと受け止めていました。



2021年11月15日（月）

### 講義3「文化を守る、文化を受け継ぐ」週末コース 事前ミーティング

XX

日本や出身県の伝統文化を守り、育んできた家族や地域に住む日系人の人々の願いや思いを知ること、また、文化を守り、受け継ぐことについて考察しました。

日本や出身県の文化を受け継ぐ際、伝統を守りたいか、それとも自国や地域にアレンジした「日本文化」「出身県の文化」にしていきたいかを話し合った結果、半分に意見が分かれました。伝統を守りたい派のグループからは、「例えば、バケツにいろんな色を入れて混ぜると一色になってしまい、つまらない。日系人が持つ祖先の文化や自国の中にある複数の文化が受け継がれることで世界はカラフルになり、素敵の世界になると思う。」、自国や地域にアレンジした文化を受け継ぎたい派のグループからは、「伝統を守ることもいいが、自国や地域にアレンジした文化に変化するのも良いと思う。なぜなら、日本にある文化も中国や朝鮮半島等の近隣諸国から伝来した文化が変化し、日本文化として定着した。私たちは日本と自国の2つの価値観を持っているので、どちらも大切にしながら受け継ぎたい。」とグループから回答があり、研修員は双方の意見にじっくりと耳を傾ける様子が伺えました。

また、どのような文化だと受け継いでいきたいかという問いに対し、主に言語や価値観、伝統行事が挙げられ、「祖父は料理や盆栽が趣味だったが、その知識や技術は家族に伝えられることなく、祖父の代でそれらの文化が途絶えてしまった。一度失ってしまうと取り戻すことができなくなり、それは非常に残念なことだと思うので、受け継ぐことは重要だと思う。」と自身の経験から見た文化継承の意義について、気づきを共有する研修員もおり、活発な意見交換の時間となりました。



XX







2021年12月13日（月）

#### 講義4「日系社会での活動を再考し、発表する」事前ミーティング（ライブ）

---

---

本邦研修（大学生招へいプログラム）で来日した際、大学研修で訪問した横浜国立大学（以下、YNU）の協力を得て実施しました。現在、研修員が暮らす中南米の日系社会では若い日系人世代の日本離れが見られ、日系社会で活動する若い世代の減少傾向にあります。そのため、研修員は自国や地域で活動した際に直面した課題をいかに解決しながら、自分たちの世代が日系社会を牽引し、発展させていくかが求められています。「日系社会の活性化」をテーマに意見交換し、今後の日系社会での活動を再考し、最終日にグループ発表を行うことにしました。

自己紹介に続いて、YNUの学生の方より日系社会の課題解決へのヒントになるよう、大学の講義で学んだ映像や動画配信を活用した地域おこしの成功事例の紹介を、研修員より自身の家族や所属する日系社会の紹介を行った後、5つのグループに分かれて交流しながら「日系社会の活性化」について話し合いを行いました。

研修員はYNUの学生および留学生のみなさんより質問を受けながら、活動する上での課題や悩みを共有し、共に解決方法を模索する姿が見受けられました。



2021年12月20日（月）

講義4「日系社会での活動を再考し、発表する」ライブ講義（グループワーク）

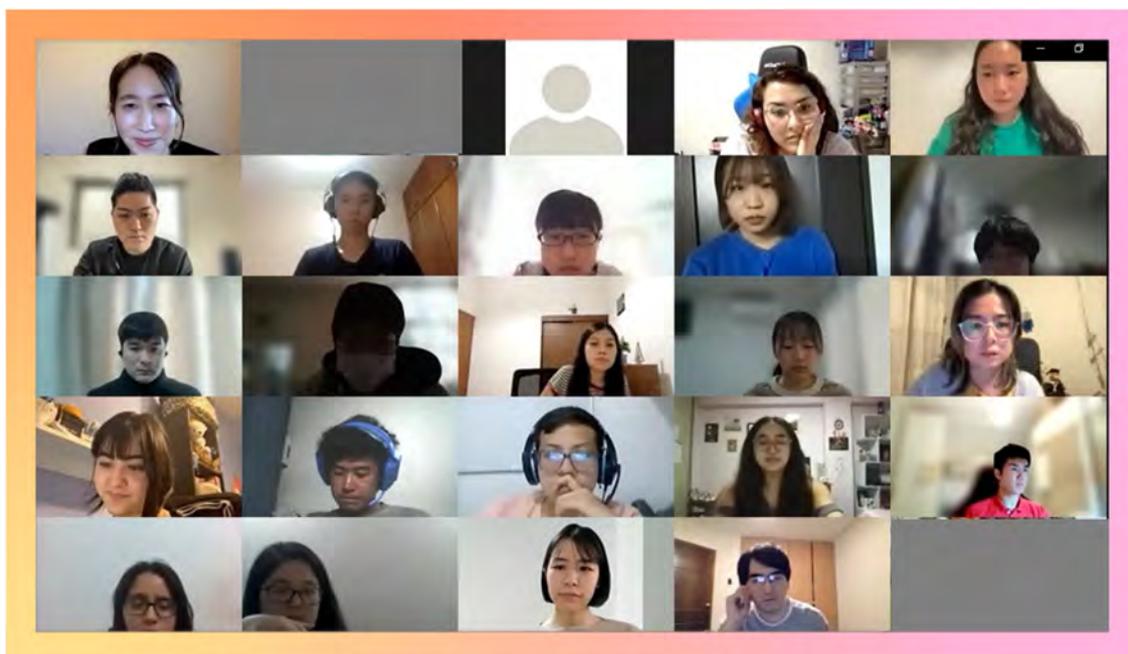
---

---

ウォーミングアップとして、グループ以外の人たちとも親睦を兼ねて、複数のグループに分かれフリートークを行いました。2021年の年末という季節柄、クリスマスやお正月の過ごし方や食事の話題でもちきりでした。ウォーミングアップで交流を深めた後は前回と同じグループに分かれ、発表のテーマや内容を決め、年末年始の作業の進め方や打ち合わせの日程を相談し、決めました。

グループワークの際、ひとりが「講義1で得たソーシャルネットワークを活用し、日系社会の情報発信をしてみるのはいかがでしょうか？」と話すと、他の研修員が「良いアイデアだと思う。ソーシャルネットワークの他に、同世代の日系人と日本人が集まり、交流できる機会を作りたい。」等、互いに刺激を受けながらどんどんアイデアを膨らませていく姿が見られました。

全体共有の時間では、日本語の普及やルーツについて考える機会を作る、日系人の若い人たちが興味を持てるような仕組み作りの検討、YNUの学生の視点を織り交ぜたプロジェクトの考案等、各グループより共有がありました。



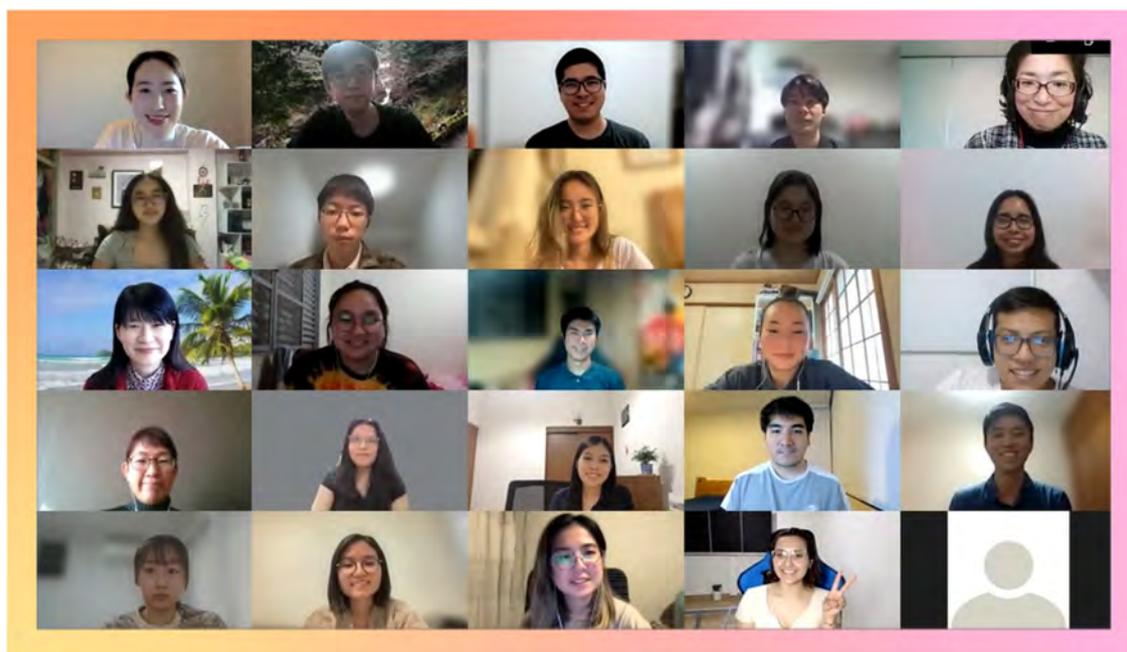
2022年1月17日(月)

講義4「日系社会での活動を再考し、発表する」ライブ講義(発表)

12月にYNUの学生および留学生のみなさんと初めて会い、年末年始にかけても各グループでミーティングや発表準備を行ってきた研修員。今回、5つのグループが日系社会が抱える課題と今後の研修員の活動を再考し、発表を行いました。

発表では、全グループが「若い世代の日系社会離れと日本文化への関心の低下」が現在の日系社会における大きな課題だとし、グループで考案した解決策を発表しました。その内容は、2つのグループよりソーシャルネットワークを活かした考案として、各国の日系人と日本人を繋ぐ架け橋の役目を果たすべく、ソーシャルネットワークを基盤とした情報発信および日系社会の交流の場の提供、日系人のこどもや日本にルーツのない自国の人にも日系社会の活動に気軽に参加してもらえるよう、キャラクターを活用し、日本文化や歴史について楽しく解説するコンテンツ作り等が挙げられました。コミュニケーションの場作りとしては、現在、日系社会に関わりのない人にも参加してもらえるよう、多くの方が興味を持てるようなスポーツイベントやサークルの実施をするという案や、日本語を話せる日系人が減少していることに注目した、日本語学習の主な目的である留学や日本での就職、旅行をテーマとした短期集中コース作りについて提案がありました。中には今回、協同作業を行ったYNUの学生および留学生の方の協力を得て日本語学習者へのアンケート調査を行い、分析しているグループもあり、同じ課題でありながらも様々な解決策が提案され、強い関心を寄せながら各グループの発表を聞いていました。

研修員は本講義を通じて他国やYNUの学生および留学生のみなさんと討論することで多角的な視点で日系社会の課題を捉え、新たな課題解決方法や気づきを得ていました。



## V. 研修員よりひとこと

### メキシコ / モレロス日系人会

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

SDGs を取り入れた日系社会の活動を考えたいです。私たちのグループは、新型コロナウイルス収束後、安全管理をしながら日系社会の行事が復活すると考えています。一例として、バザーでは、複数回に分け人数制限やネット販売、食事はテイクアウト販売する、子供のワクチン接種が遅れているため、学校行事はオンライン発表会を行う等、オンラインを有効活用した行事の運営をしていきたいです。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

「和」のような世界に応用できる新しい概念を学ぶことができ、良かったです。現在、世界が大きく変化している時代に生きているので、自身も調和を見つける必要があると思いました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

パネリストの話聴き、文化継承は強制的なものではなく自身が楽しんですることだと学びました。本講義のおかげで、日本文化についてたくさん学ぶことができ、今後、日系社会で文化を広めるために役立てていきたいです。

**Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。**

研修で教えてもらったソーシャルメディアを活用し、日本語や日本文化を教えるコンテンツを作りたいです。また、JICA のプログラムに参加し、日本文化を学び続けたいです。

### メキシコ / ー

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

自国では日本文化を学ぶ機会がないため、受講することで自身のルーツやアイデンティティ、日本文化を学ぶ貴重な機会を得られました。また、侍の掟はすでに自身の文化や考え方の基礎になっていると感じられました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

日本祭りのオンラインイベントの企画運営に携わりたいです。日系人が日本と自国の架け橋になっていることに焦点を当て、アイデンティティに関する出版物や資料、ビデオを作成したいです。

#### ブラジル / ブラジル剣道連盟

Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

和食でベジタリアンやヘルシーな食事を提供できるのではないかと思いました。そのため、まずは自身の活動する日系社会で、その後、他の地域で食事の改善に取り組んでいきたいです。

#### ブラジル / ブラジル三重県人会

Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

日系社会で再活動する際、日本文化について共有したいです。

#### ブラジル / モジダスクルーゼス文化協会

Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

安全管理を行いながら、青年部バレーボール部の再開ができるよう協力することです。また、行事が復活したのち、健康的な和食の販売や、プラスチックごみの分別を行い、リサイクルを促進したいです。

#### ブラジル / ARCG 日本語学校

Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

和食でより健康的な食べ物を提供するプロジェクトを作りたいです。

Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

日本文化や伝統について、より多くのことを学ぶことができたことです。また、自身と同じように、日本文化を知りたいと関心を寄せる他の研修員と交流し、繋がりを持つことができたのが有益でした。

Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

パネリストの話聴き、非常に役立つと思ったのは、実際にパネリストが行っているソーシャルメディアを使った情報や文化の発信です。日本の歴史が現代と繋がっていることを伝え、興味を持ってもらえるよう珍しい物や写真を取り入れながらコンテンツを作りたいです。

Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

日系コミュニティの交流の幅を広げるための活動をしていきたいです。

---

## ブラジル / ピラール・ド・スール文化体育協会

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

自国で日本文化を広めたいです。将来的には、自国の農村部で日本語指導にあたりたいと考えています。それにより、SDGs4「質の高い教育をみんなに」へ貢献できると考えています。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

非常に興味深く、心が豊かになるような講義内容でした。自分を成長させるためには、常に新しいことを学び、他者と対話することが大切だと思いました。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

ソーシャルメディアの活用です。活動する日系社会では紙のパンフレットをデジタル化し始めたがまだ使いこなせていないと思うので、ソーシャルメディアを活用し、若い世代へ発信していけたらと思います。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

活動先の日系社会ではソーシャルメディアのアカウントを持っているため、今後、より魅力的なコンテンツをアップロード、例えば、Tik Tok やアニメを通じた日本文化の紹介等を発信していきたいと思います。

---

---

## ブラジル / イボチ日伯文化協会

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

主に日系社会のメンバーたちと協力しながら日本語教育の強化や図書館を再開し、多くの方が様々な種類の日本語の本を借りられるようにできるよう計画しています。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

研修後も県人会で活動を続け、若い日系人が参加してもらえるようなきっかけ作りを仕掛けて行きたいです。

---

---

## ブラジル / ー

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

将来、仕事を通して社会的な課題解決にかかわることを目指したいです。大学卒業後は JICA 等のような機関に応募し、様々な国の課題解決に直接関わることを目指しています。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

本講義は他の研修員と共に、日本文化に関するあらゆる面をより深く理解するために貴重な経験でした。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

自国で弟が日本語教師をしているので、本講義のグループ発表で得たアイデアを共有し、授業に取り入れてもらうよう促進します。

---

---

## ペルー/天理文化センター

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

新型コロナウイルスが収束後、日系社会の活動に戻り、本講義で得た知識を周囲に共有して再活動に活かしたいと思います。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

日本の価値観を知り、歴史を学ぶことで、世界レベルでの高度な技術と安全性を持つ国に到達するための基盤が何であったかを理解できました。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

自国の日系社会の行事を通して、若い世代に日系人のアイデンティティや文化を伝える活動をしていきたいです。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

ソーシャルメディアを今後の日系社会での行事や日系企業のプロモーションのために生かしていきたいです。

---

---

## ペルー / ペルー日系人協会

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

将来、自国と日本の国際協力分野で外交官として活躍する上で、学んだ知識を役立てたいと考えています。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

日本人の多くが無意識のうちに武士道の理念を日々の生活の中で実践していることが分かりました。自分たちのルーツを忘れないことは日系人にとって非常に重要なことであり、文化を次世代に伝え続けるために必要だと感じました。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

自国で日本語や文化を普及させるために、ソーシャルメディアを利用していきたいです。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

ソーシャルメディアを活用し、日本文化を発信したいと思います。ソーシャルメディアの利点としては、初期費用が掛からず若い世代との距離を縮めることが可能なので、大きな進展があると考えます。

## ペルー / 天理文化センター

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

日系社会はソーシャルメディアを使って、寿司よりも健康的で美味しい和食を紹介することができると思いました。そうすれば、SDGs の目標達成に貢献できるだけでなく、日本の食文化や伝統を広く知らしめることが可能だと思うので、周囲に健康的な和食をもっと食べてもらえるような活動をしたいです。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

日本の歴史を学び、文化や伝統を伝えることの重要性を知ったことです。また、日本との繋がりを深められたと実感しました。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

自国では時代と共に失われていく文化がたくさんあります。パネリストの話聴き、文化を継承するために YouTube チャンネルを作り、日本文化を楽しく伝えられるように取り組みたいです。また、日系人の子供たちが気軽に楽しんで文化に触れられる講座を企画したいです。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

日本語の勉強が楽しめるような工夫をした活動ができたらと考えています。

## ペルー / APJ JICA ZENDAIKO

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

今回得た知識を日系社会へ共有することで、今後の行事の改善に役立てることができると思いました。行事では、揚げ物や塩分過多の食べ物を避ける等、より健康的な食事を提供したいです。さらに、行事の廃棄物を減らし、リサイクルすることでSDGsの目標達成に貢献したいと思います。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

日本の歴史、侍とその生き様、和の心等、知らなかったことを沢山学ぶことができたことです。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

自国にある日本文化センターを利用し、多くの人に日本文化を伝えたいです。将来、外交官となり、自国と日本の関係を強化しながら文化活動を行い、日本の協力を得て自国の多文化に関する環境を整えていきたいです。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

日系社会や日本に興味を持つ人たちに対面で入門講座を行い、ソーシャルメディアで情報提供をしたいです。

## ペルー / 鶴日本語学校

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

デジタルツール、特に金融に関することを学び、自国の日系社会の経済を再活性化する手助けをしたいです。デジタルプラットフォームについて学ぶことは、大学卒業後の就職活動にも役立ち、社会に貢献できる可能性を感じました。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

自国では日本の歴史について情報を得ることがほとんどないため、本講義で学ぶことができ、非常に役立ちました。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

文化を継承するための計画を完全には決めていませんが、パネリストの取り組みは非常に刺激を受けました。いつか、他の日系人と連携し、日本文化や家族の歴史等、地域住民の子どもたちが小さいころから関心を持てるような活動をしたいです。そのためにも本講義と一緒にプロジェクト作成をしたグループメンバーと連絡を取り合い、協力体制が出来ればと考えています。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

発表内容にあった日本語に関心を持ってもらえるよう、それぞれの国や地域で活動を行いたいです。

---

## ペルー / 天理文化センター

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

本講義を受け、小さな行動でも SDGs の達成に役立つことが分かりました。ソーシャルメディアを活用し、和食で栄養価があり健康的な食事ができることを紹介し、SDGs の目標達成に貢献したいです。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

講師が日本の歴史や文化について熱く語っていたのが非常に良かったです。また、グループワークでは、様々な地域から参加した他の研修員と話し合うことができ、互いの視点を比較でき、学びが大きかったです。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

自身のルーツ、祖先を思い出させてくれるからこそ、日本文化には価値があると思うので、日本語学校や日系社会で共有していきたいです。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

ソーシャルネットワークの活用の他、将来、日本語学校を中心としたプロジェクトを検討しています。日本語だけではなく、日本文化、日本人の移住の歴史、社会等を学べるような環境を作りたいです。

---

---

## ペルー / ペルー日系人協会

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

今回参加できなかった研修員の仲間や日系人の友人へ、講義で学んだ知識を共有し広めていきたいと思います。

---

ペルー / ペルー福岡県人会

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

今後、行事が復活し、出店をする機会があれば、ただ料理を出すだけでなく健康的なオプション、例えば、抹茶等、自国で人気の出始めたヘルシーな飲み物を提供し、健康効果も伝えて出していきたいです。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

日本文化の意味が分かりました。茶道や書道といった日本文化等を通し、楽しみながら受講できました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

文化を伝承しているパネリストの「子供たちに強制するのではなく、やる気を起こさなければならぬ」という言葉に共感しました。そして、文化や伝統について年配者や若者のグループを作ってはどうかと考えています。

**Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。**

今後も日系人が留学や就職のため日本へ行く機会があると思うので、ビジネスや日本文化等の日本語コースを作り、提供したいです。

ペルー / ペルー日系人協会

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

オンラインイベントを通じて、文化活動を発展させていきたいです。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

日本の歴史的観点から日本文化を理解することができました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

日本政府が提供している留学プログラムの認知度を高めることで、若い世代の日系人に興味を持ってもらえる活動をしたいです。そうすることで、自国の日系社会で日本語や行事を存続させることに関心を持たせることができると思うからです。

**Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。**

周囲の若い日系人に協力を得ながらソーシャルネットワークでコンテンツを作り、日本や自国の日系社会の交流の促進をしたいです。その際は、今回ワークをした日本の学生にフィードバックをしてもらうことも検討しています。

ペルー / ペルー北中城村仁会

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

講義で得た知識を生かし、活動先の会館でどのように SDGs の取り組みができるか、周囲の人たちと話を聞いてみたいと思います。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

本邦研修で学んだことを振り返ることができ、日系社会への貢献について意欲が湧きました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

「格好良いから」という表面的な理由から日系社会での活動を始めたいと思う人も受け入れていくことが大事だと思いました。アニメや音楽、流行のものに興味を持ってもらえたら、そこから日本文化を深堀できるのではないかと思うので、これまで日系社会と関りのなかった人々へのアプローチを検討し、再活動していきたいです。

**Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。**

ソーシャルネットワークを活用した発信についての発表が多く、多くの同世代が同じ意見を持っているのだと分かったので、アニメや音楽等ポップカルチャーを扱う、動画配信する等、同世代や年下の人たちが興味を持ってもらえるようなコンテンツを作りたいです。

ペルー / ー

**Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。**

自国で日系社会の人たちと連携し、ソーシャルメディアを通じて日系社会の認知度を高めていきたいです。特に若い世代向けのコンテンツを作ることに重点を置いた委員会を作るのが理想です。

ボリビア / Asociacion Boliviana Japonesa

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

講義で学んだ知識を周囲へ共有し、自宅へ招待した際、本格的な和食を用意し、試食してもらえたらと思います。

ボリビア / ー

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

自国に貢献できるよう、文化、教育の活動を企画したいと思います。

パラグアイ / エンカルナシオン日本語学校

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

講義で得た知識を共有し、日系社会の再活動について最善策を見つけたいです。今後、オンラインイベントを行う際、若い世代が利用しているソーシャルメディアで行事の宣伝をし、より多くの人に参加してもらえるようにしたいです。そして、行事で SDGs の取り組みもしていこうと思います。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

本講義では、自身が知らなかった多くのことを学ぶことができました。他人へ配慮しながら生きる等、見直すきっかけとなりました。

パラグアイ / パラグアイ三育学院

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

アイデンティティの意味はよく理解していたが、本講義を学び、それが日本文化より大きく影響を受けていると感じました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

日本語学校に通っていない日系人と意見交換の場を作り、ルーツや日本文化、習慣、価値観を受け継ぐ必要性について考え、共に成長していきたいと思います。

パラグアイ / アスンシオン日本人会

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

講義で学んだことを活かし、新型コロナウイルス収束後の日系社会の活動に役立てていきたいです。

---

## パラグアイ / Unión de Jóvenes Nikkei

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

健康面の課題（健康的な食生活）に取り組むため、自国の日系社会のメンバーへ情報を共有し、連携を取りながら支援できればと考えています。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

他者への配慮や後悔しないように生きる等、侍の信念が現代の日本社会に残っており、それが日本文化にも影響していることが分かりました。非常に有意義な時間でした。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

今までは行事に参加するだけのことが多かったのですが、本講義を受け、自身でイベントを企画する立場になれば、文化を伝えることにより責任を持つことができると分かりました。所属する日系社会では、現在、ソーシャルメディアを活用したオンラインイベントを開催していないので、それに携わりたいと思います。

---

---

## パラグアイ/アスンシオン日本人会

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、自国では失業率が高まり、生きるために強盗や殺人等の犯罪が増え、治安が悪化しているのに対し、日本では治安が悪化せず、自粛は「社会マナー」として自然と取り組んでいることが日本文化のひとつだと知り、素晴らしいと思いました。そのような良い文化を見習いたいと思いました。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

宮本武蔵の「獨行道二十一箇条」が印象的で、日本文化や日本人の考え方はここから来るのかと思いました。また、侍が時代と共に変容していったのも興味深かったです。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

3 名のパネリストの活動や思いを聞くことができ、参考になったので、今後の活動に活かそうと思います。

---

---

## アルゼンチン / ブエノス・アイレス日亜学院

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

具体的なアクションプランはまだありませんが、講師の話を聴き、自身も努力し、苦手分野でも身に付けることができれば人助けができると思いました。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

日本の歴史と文化について、知らないことを学ぶことができました。また、侍の話を通じて教訓を知ることができました。

### Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。

食べ物や習慣等、多くの人に知ってもらうため、日本人とのオンライン交流や動画作成および投稿を行いたいです。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

技術とソーシャルメディアは私たちが有効に活用しなければならない重要かつ価値のあるリソースとなったので、今後、活動に役立てたいです。

---

---

## アルゼンチン / 沖縄県人会

### Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。

SDGs の目標達成を念頭に置きながら、自身が学んだことを応用し、日系人の文化の発展や他者を助けることができるように活動していきたいです。

### Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。

非常に興味深く、内容に引き込まれました。本講義を通じて日本文化について理解し、自分のルーツを再確認できました。また、日本の歴史を通して日本人について理解できたことも有益でした。

### Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。

ソーシャルメディアは世界中からアクセスできるので、本講義で発表したプロジェクトを実践していきたいです。

---

#### アルゼンチン / ブエノス・アイレス日亜学院

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

Z 世代はソーシャルメディアやテクノロジーと深くかかわっているという話がありましたが、それらを活かしたコミュニケーションツールを作り、ニュースや文化等の発信を考えています。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

講義中にあった言葉を聞き、「人生に後悔のないよう、困難を乗り越え、より自信を持って生きていきたい。」と思えました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

本講義を受け、ソーシャルメディアを利用し、日本文化や日系社会の情報発信することは有益であることが分かりました。

**Q. 講義 4 を受講後のアクションプランを教えてください。**

住んでいる地域では、まだソーシャルメディアを利用した活動をしていないため、今回発表した計画には大きな可能性があると考えています。また、ソーシャルメディアのコンテンツ作成やマーケティングに関するコースも受講して、魅力的な情報発信ができるようにしていきたいです。

#### アルゼンチン / アルゼンチン秋田県人会

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

県人会の副会長として、若い世代が日本や日系社会と繋がりを持ち続けられるようにしたいです。

#### アルゼンチン / ブエノス・アイレス日亜学院

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

SDGs について、ソーシャルネットワークを利用し、周囲と協力し、連携を取りながら様々なイベントの企画、運営を行うことで、貢献できるのではないかと思います。コロナ後、スポーツ大会等の開催の運営を行いたいです。

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

日本文化や侍について等、今まで学んだことのない知識を得ることができ、非常に興味深かったです。

アルゼンチン / ー

**Q. 講義 2 を受講し、有益だったことを教えてください。**

講義や他国の研修員と交流しながら日本文化や歴史について意見交換できたことです。日本と中南米の「架け橋」になりたいと考えているので、本講義は非常に価値があると思いました。

**Q. 講義 3 を受講後のアクションプランを教えてください。**

中南米の日系人が日本人と交流できるオンラインミーティングの実施、動画投稿やオンラインイベントを企画したいです。

アルゼンチン / ー

**Q. 講義 1 を受講後のアクションプランを教えてください。**

以前から気になっていた SDGs について本講義で考えることができ、日系社会が和食で貢献できる可能性があることを知り、非常に参考になりました。行事等で和食を通した健康作りにも貢献できるよう、考えていきたいです。

## VI. 総評

1908年、「笠戸丸」と呼ばれる船でブラジルへ渡った後、ブラジルやボリビア、パラグアイ等、中南米各国への移住が広まり、その歴史は100年以上にもなります。移住した日本人は各国や各地域で「日系社会」と呼ばれる日本人のコミュニティを形成し、日本文化の継承と普及を行ってきましたが、現在では中南米の日系社会では世代交代が進み、若い世代が今後の日系社会を担う存在として期待されています。

例年通りであれば、中南米諸国に住む日本の高校生および大学生に相当する研修員が来日し本邦研修を行います。新型コロナウイルス感染拡大の影響により来日が叶わず、前年度同様、オンライン会議システムを利用した研修に切り替えて実施しました。今年度は本研修が始まった2015年度から2019年度までの過去5年間で高校生・大学生招へいプログラムに参加した研修員を対象とし、本邦研修の振り返りと今後の日系社会の再活動方法の見直し、アクションプランを考える場を作りました。

本研修では同じ年度に本邦研修を受けた研修員をはじめ、年度や国を越え、様々な研修員が改めて出会える場を提供し、日系社会の再活動や貢献について学びを深められるようにしました。各講義やグループワークを通して、これまでの日系社会での活動や直面した課題等を共有することで、他国の日系社会や活動内容の共通点や相違点が見つかり、多様な活動、取り組みがあることに気付くことができました。

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修員が暮らす国や日系社会の経済や教育の情勢が激変する中、研修員が自国や地域の日系社会でどのように活動し、いかに貢献していけるのかを考察する機会を設けました。受講した研修員は「和食」の良さを再認識し、それが中南米諸国の健康に関する課題解決の一役を担うことが分かり、活動に取り入れようと検討する姿が見られました。

研修員一人一人が文化の継承について考え、自身の生き方に反映させていくことは、今後日系社会を牽引していく者として大切であると考え、新たな講義として「日本文化の継承の意義」をテーマとした学びの場を作りました。グループワークや文化活動をされている日本人3名のパネリストと意見交換をする中で、祖先が大切に守り、育ててきた日本および出身県の文化や歴史へ関心が深まりました。同時に、祖先に対する感謝の念が深まり、日本と自国の双方の価値観を有することに誇りを持ち、日系人のアイデンティティがより強まっていく姿が見られました。

本研修の集大成として、横浜国立大学の協力を得て、日本人の学生および留学生の方に日系社会が抱える課題や現状を共有することで自身の考えを整理し、新たな課題解決の視点が生まれるようプロジェクト作成とグループ発表を行いました。本研修を連続で受講した研修員の中には、これまで与えられた研修の課題や講義内容が役立ち、問題提起や課題解決策の提案が容易になったと手ごたえを感じている者もいました。日系人や日系社会について強い関心を寄せる横浜国立大学の学生および留学生と共に意欲的にプロジェクトの計画を進め、動画や日系社会の活動写真を取り入れた発表を行っていました。各グループ、年末年始も自主的にミーティングを行い、納得がいくプロジェクトを作成しようと努力を積み重ねた各グループの発表は非常に素晴らしく、大学教員やJICA職員から高評価を得ていました。

研修員たちは事後アンケートで「日本文化は長い歳月をかけ、先祖から伝わった歴史の

一部であることから、日本文化を継承することは自分のルーツに繋がり、非常に重要なことだと気付いた。日本文化の価値について考えさせられた。」「自らが日系社会の行事等で日本文化を広く伝えていく責任があると感じ、行事で企画・運営サイドで活動をしていきたい。」「プロジェクト作成を行うまでは、日系社会にある課題に対して仕方がないと諦めていた部分があったが、他の研修員や横浜国立大学の学生と討論を重ねることで危機感が芽生え、『自分たちが日系社会を何とかしなければ!』と思うようになった。」等コメントし、自分たちが置かれている環境と立場を理解し、今後の活動を見直す様子が伺えました。

本邦研修の振り返りを行い、他の研修員と共に新たな知識を得た研修員は、今後の日系社会で活動を再開するにあたり、より意欲的に新たな一歩を踏み出すことでしょう。日系社会を牽引していく担い手として、今回出会った仲間とのネットワークを活用しながら、各国の日系社会および自国へ貢献していくことを期待します。

以上

# ねん ど 2021年度

## につ けい しゃ かい じ せ だい いく せい けんしゅう JICA日系社会次世代育成研修

こう こう せい だい がく せい しょう  
(高校生・大学生招へいプログラム)

けんしゅういん む けんしゅう  
～研修員OB・OG向け オンライン研修～

ねんど ねんど につけいしゃかいじせだいいくせいけんしゅう こうこうせい  
2015年度～2019年度JICA日系社会次世代育成研修（高校生・  
だいがくせいしょう さんか けんしゅういん たいしょう  
大学生招へいプログラム）に参加した研修員OB・OGを対象とし

けんしゅう じっし  
オンライン研修を実施することになりました。

さんか ま  
みなさんのご参加をお待ちしています！

につけいしゃかい かつどう うえ かだい かいけつ  
① 日系社会で活動する上での課題解決

ぶんかけいしょう かんが  
② 文化継承を考える

ぶんか まも ぶんか う つ  
③ 文化を守る、文化を受け継ぐ

につけいしゃかい かつどう さいこう  
④ 日系社会での活動を再考し、  
はっぴょう  
発表する

にちじ  
【日時】

にほん じかん  
日本時間

ねん がつ  
2021年10月

～

ねん がつまで  
2022年1月迄

くわ  
★詳しくは  
じぺーじいこう  
次頁以降を  
らん  
ご覧ください！

## 【プログラム内容】

\* 研修日時は全て日本時間で表記しています。受講する国の日時を確認の上、受講してください。

詳しくは、次頁以降をご確認ください

### 【プログラムについて】

- ① 2021年10月（全3回）  
「日系社会で活動する上での課題解決」
- ② 2021年11月（全2回）  
「文化継承を考える」
- ③ 2021年11月（全2回）  
「文化を守る、文化を受け継ぐ」
- ④ 2021年12月～2022年1月（全3回）  
「日系社会での活動を再考し、発表する」

## 【研修ツール】 ZOOM

【対象者】2015年度～2019年度日系社会次世代育成研修（高校生・大学生招へいプログラム）

に参加した研修員OB・OG

（現在の日系団体所属の有無は問いません）

【定員】各回50名（先着順）

【募集期間】2021年8月25日（水）～9月15日（水）迄（予定）（日本時間）

【申し込み】以下のGoogleフォームにご記入の上、お申込みください。

Google フォーム

<https://forms.gle/HLGCx2dub7Z5kYuB6>

【問い合わせ】各国のJICA在外事務所へお問い合わせください。



## 【プログラムについて】

### ① タイトル:「日系社会で活動する上での課題解決」

帰国後、研修で学んだことを活かし日系社会で活動してきた中で出て来た課題について他の研修員と共有します。どのようにしたら課題解決ができるのか、またよりよい活動ができるのかを考えます。

研修回数：3回

\* 研修前後に事前課題シート、事後課題シートの提出があります。下の日程表で確認してください。

#### 【平日コース】日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年10月上旬 配布予定	担当者から参加者へメールにて 連絡します
録画講義	2021年10月上旬 配信予定	1回予定。配信期間内に視聴してください
事前ミーティング（ライブ）	2021年10月15日（金）	午前8：00-午前10：00予定
ライブ講義	2021年10月22日（金）	午前8：00-午前10：00
事後課題シート提出	2021年10月22日（金） 配布予定	提出締切日：10月29日（金）

#### 【週末コース】日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年10月上旬 配布予定	担当者から参加者へメールにて 連絡します
録画講義	2021年10月上旬 配信予定	1回予定。配信期間内に視聴してください
事前ミーティング（ライブ）	2021年10月18日（月）	午前8：00-午前10：00予定
ライブ講義	2021年10月25日（月）	午前8：00-午前10：00
事後課題シート	2021年10月25日（月） 配布予定	提出締切日：11月1日（月）

## ② タイトル：「文化継承を考える」

研修員の多くは、一度は家族から日本文化や出身県の文化を受け継いでほしいと言われたことがあるのではないのでしょうか？ この講義では、文化継承の意義について考えます。

研修回数：2回

\* 研修前後に事前課題シート、事後課題シートの提出があります。下の日程表で確認してください。

【平日コース】日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年10月26日（火）配布予定	提出締切日：11月2日（火）
事前ミーティング（ライブ）	2021年11月3日（水）	午前8：00-午前10：00予定
ライブ講義	2021年11月10日（水）	午前8：00-午前10：00
事後課題シート	2021年11月10日（水）配布予定	提出締切日：11月17日（水）

【週末コース】日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年10月24日（日）配布予定	提出締切日：10月31日（日）
事前ミーティング（ライブ）	2021年11月1日（月）	午前8：00-午前10：00予定
ライブ講義	2021年11月8日（月）	午前8：00-午前10：00
事後課題シート	2021年11月8日（月）配布予定	提出締切日：11月15日（月）

### ③ タイトル:「文化を守る、文化を受け継ぐ」

上記②の講義を受け、この講義では日本で伝統文化を継承している人や団体の方をゲストに招き、意見交換を行います。ゲストの文化継承への思いや活動方法を聞き、日系社会での活動や日本文化を継承する意味を再考します。

研修回数 : 2回

\* 研修前後に事前課題シート、事後課題シートの提出があります。下の日程表で確認してください。

#### 【平日コース】日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年11月9日(火) 配布予定	提出締切日: 11月16日(火)
事前ミーティング(ライブ)	2021年11月17日(水)	午前8:00-午前10:00予定
ライブ講義	2021年11月24日(水)	午前8:00-午前10:00
事後課題シート	2021年11月24日(水) 配布予定	提出締切日: 12月1日(水)

#### 【週末コース】日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年11月7日(日) 配布予定	提出締切日: 11月14日(日)
事前ミーティング(ライブ)	2021年11月15日(月)	午前8:00-午前10:00予定
ライブ講義	2021年11月22日(月)	午前8:00-午前10:00
事後課題シート	2021年11月22日(月) 配布予定	提出締切日: 11月29日(月)

④ タイトル：「日系社会での活動を再考し、発表する」

本邦研修で訪問した横浜国立大学の学生と「日系社会の活性化」、「共に活動する仲間づくり」、  
「周囲を巻き込んだ地域の取り組み」をテーマに意見交換し、今後の日系社会での活動を再考  
します。各グループでテーマについての発表を行います。

研修回数：3回

\* 研修前後に事前課題シート、事後課題シートの提出があります。下の日程表で確認してください。

週末コースのみとなります。日本時間で表記されています

	実施日	実施時間・提出締切
事前課題シート	2021年12月上旬 配布予定	担当者から参加者へメールにて連絡します
事前ミーティング（ライブ）	2021年12月13日（月）	午前8：00-午前10：00
ライブ講義 （グループワーク）	2021年12月20日（月）	午前8：00-午前10：00
ライブ講義（発表）	2022年 1月17日（月）	午前8：00-午前10：00
事後課題シート	2022年 1月17日（月） 配布予定	提出締切日：1月24日（月）